

記事

◎会計中商報告

(前号既報の大会における報告以後)

・大会報告時の差引残高 一九七〇円

・以後の取入 五四二二円

大会期間中名義売上金 七五〇円

以後名義売上金 三四七円

会費納入金(二十一名) 四三〇〇円

切手等現金引替 二五〇円

・同支出 四〇六三円

切手購入 二五五円

郵便二回分 七〇円

切手(一六一通分) 二二八八円

印刷代(研究通信七号) 二二五〇円

端書購入 一〇〇円

・差引現在高 三三三九円

以上の如く、甚だせつぱつまつていまして、から
 会費未納入の方はどうかお郵送金下さいませよう。
 いまのまゝだと、このNo8を発送すると既に少
 々赤字が出さうです。(中野)

◎会費

昭和廿九年度分(四月以降分)より、会費に
 向する規定が次のように変更になっております。

一、入会費 不要

一、会費 年額 三百円

但し、廿八年度分(入会費百円、廿八年度
 分通信連絡費)込みがあつた方には既発行の
 研究通信を残部のある限り廻つて御送り致して
 おります。

(払込先) 振替口座 東京支店八八六番
 村越社会研究会

◎会員名簿

「昭和廿一年十月一日現在」

村越社会研究会(会費) 宛領領市
 残部が若干ありますから、送料とも実費として
 八円切手四枚(或月三十二円)封入の上、本都
 へて申込まれば速ちに郵送致します。

◎新編会費納入者(前既報以後、前には休載)

- 泉 靖一・米村昭二・岡 敏吾・桜田勝憲・
- リノストロム・小森健治・林 三郎・岡村
- 精一・齊志正造・川原 勇・野口(御名未詳)
- 林 稲苗・阿部政太郎・小林茂・横井太郎・
- 二宮吾雄・布村一男・石原通子・廣田忠夫・
- 高橋正彦

◎なお、既に次の善氏より廿九年度分会費払込
 金を領ております。
 山本 登・小寺康吉・二宮吾雄

図書紹介

『一研究年報—経済学』(一九五三、四)東
 北大学経済学研究室、発行所 仙台市片平町
 東北大学経済学部内 東北大学経済学会、振替
 仙台四九二八番 定価一八〇円、送料二四円
 中村吉治 遼山村調査報告(一)

『村越的村越共同体の研究—
 高田 隆 著末明治初期遼山村の労働組織
 塩沢君夫 岩手県遼山村の一農家経営
 矢木明夫 南部藩遼山村水利組織について
 のほか、二論文を収載している。』

『一研究年表—経済学 第廿九号』
 には、その続編が次のように掲載された。
 遼山村調査報告(二)

幕末における水、目留山と村落構造
 安孫子 麟
 菅野 俊作
 (なお、本稿に残された問題については、東北
 大学「農学研究所集報」第五巻第三号以下に報
 告の手定の由である。)